

利用・用途・応用分野

無料開放特許

放射能汚染水の処理

目的・課題

福島第一原子力発電所が甚大な被害を受けた結果、大量の放射能汚染水が発生し、その処理が大きな課題となっている。放射能汚染水の処理に適用可能な、従来の吸着法に替わる新たな汚染水の処理方法を提供することにある。

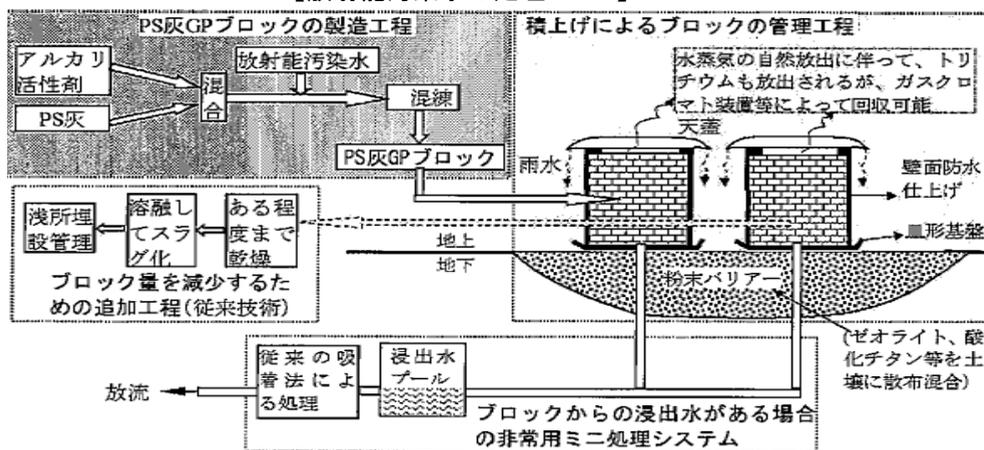
解決ポイント

本発明の汚染水の処理方法は、製紙スラッジ焼却灰とアルカリ活性剤と汚染水とを液固比が1.0以上となるように混合して、ジオポリマー固化体とすることを特徴とするものである。

研究概要・アピールポイント

放射能汚染水をジオポリマー固化体とすることで、汚染水に含まれる放射性核種等の汚染物質をジオポリマー固化体内に固定して閉じ込めることができる。製紙スラッジ焼却灰とアルカリ活性剤と汚染水を混合するという簡単な工程であり吸着材の廃棄処理という問題も発生せず、従来の吸着法に比べ低コストで効率の高い汚染水の処理を実現できる。

【放射能汚染水の処理フロー】



◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp